

入院診療計画書：大腸ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)

主治医： ⑩

患者氏名： 様

担当看護師：

経過日数 分類		入院日	治療当日・前	治療当日・後	治療翌日
患者説明資料	処方	現在飲んでいる薬を確認します。 抗凝固薬、糖尿病薬についても確認します。 夕食後に下剤を内服していただきます。	朝に糖尿病の薬がある方は内服を中止してください。 朝の内服がある方は飲んで構いません。 血をサラサラにする薬は中止することがあります。		医師の指示により内服が再開になります。
					
	注射		検査前に点滴を行います。 	点滴があります。 	点滴があります。 
	処置	便秘が続いている場合、便を出しやすくするため浣腸をかける事があります。 	朝8時から2Lの下剤を2時間かけて内服していただきます。 下剤を内服しても便の状態が悪ければ、追加で下剤を内服する事や、浣腸をかける事があります。		採血とレントゲン撮影があります。 
	食事	お昼より検査食が出ます。 検査食以外のものは食べる事ができません。 水・お茶・スポーツ飲料は飲んでもかまいません。 特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無	朝食は出ません。 昼12時まで水・お茶・スポーツ飲料を飲むことができます。	検査後、医師の許可が出たら水・お茶・スポーツ飲料を飲むことができます。	食事はできません。
					
	清潔	シャワー浴ができます。 		シャワー浴はできません。 	午後からであればシャワー浴ができます。 
	体動	病棟内の制限はありません。 	制限はありません。 	検査後の初回歩行は確認します。 	病棟内の制限はありません。 
	教育・指導	入院時の説明があります。	下剤を内服した後は血圧低下や気分不快などの症状が多く現れます。症状が出た場合は看護師にお知らせください。	ポリプ切除後の生活の留意点についてお話しします。	
		お腹の痛みや吐き気があるときは我慢せずにお知らせください。 	便の状態を排便のたびに確認しますので、便を流さずにお知らせください。 検査に行くときは下着を脱いで、指定の検査着に着替えてください。 検査に行くときは入れ歯や貴金属は取りはずしてください。 	お腹の痛みや吐き気、便に血が混じる事があればお知らせください。 	

※ 上記内容について説明を受けました。 年 月 日：患者様氏名(代理者氏名・続柄)

入院診療計画書：大腸ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）

経過日数 分類		治療後2日目	治療後3日目	治療後4日目	治療後5日目～
患者説明資料	処方	普段通りに内服してください。 	普段通りに内服してください。 	普段通りに内服してください。 	普段通りに内服してください。 
		問題なく食事摂取ができていれば、点滴は終了です。			
	処置				
	食事	5分粥が出ます。 	全がゆ食が出ます。 	全がゆ食が出ます。 	全がゆ食が出ます。 
	清潔	制限はありません。 	制限はありません。	制限はありません。	制限はありません。
	体動	病棟内の制限はありません。 	病棟内の制限はありません。	病棟内の制限はありません。	病棟内の制限はありません。
	教育・指導	医師の判断で退院日が決定します。	医師の判断で退院日が決定します。	医師の判断で退院日が決定します。	退院が決定しましたら、次回受診日について説明があります。退院の目安は7日間程度です。
					